

11月14日は 「World diabetes day」

毎年11月14日は「World diabetes day」です。

昨年までの「世界糖尿病デー」から2024年より国際基準に合わせて

「World diabetes day」と表記が変更されました。

「World diabetes day」は

1991年にIDF(国際糖尿病連合)とWHO(世界保健機関)が制定し、

2006年12月20日に国連総会において

「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議(UN Resolution61/225)」が

採択されて公式に認定されました。

11月14日はインスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日であり、

糖尿病治療の画期的な発見に敬意を表し、

この日を「World diabetes day」として顕彰しています。

毎年11月14日は世界各国でさまざまな糖尿病啓発イベントが開催されます。

わが国でも、JADEC(日本糖尿病協会)と日本糖尿病学会が中心となり、

11月14日を含む1週間を「全国糖尿病週間」として、

各地で著名な建造物をブルーにライトアップして、街頭での啓発活動を実施しています。

今年は11月11日(月)～17日(日)です。

ぜひ皆さまも「World diabetes day」のイベントにご参加ください。

各地での建造物のブルーライトアップやイベントの情報は

「World diabetes day」の公式ホームページよりご確認ください。

「World diabetes day」の公式ホームページ <https://www.wddj.jp/>